

第126期中間報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで



株主の皆様へ

TAKEBISHI REPORT

126



 株式会社 **たけびし**

証券コード:7510

進化する技術と最良の品質を提供する “トータルソリューション技術商社”を目指しています。

Q1 当第2四半期の、たけびしグループをとりまく経営環境について教えてください。

A1 当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や中国経済の減速等の影響もあり一部に弱い動きも見られたものの、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。

Q2 当第2四半期の、たけびしグループの取り組みについて教えてください。

A2 当社グループは、成長戦略に掲げる「基幹ビジネスの強化」、「注力ビジネスの更なる拡大」を推進し、グループが一丸となり業容拡大と収益力向上に取り組んでまいりました。

Q3 当第2四半期の、たけびしグループの業績について教えてください。

A3 当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高323億23百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益8億71百万円（前年同期比3.4%減）、経常利益8億93百万円（前年同期比4.5%減）、四半期純利益5億50百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

株主の皆さまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は1926年の創業以来、京都・滋賀地区を主力地盤に、三菱電機製品を中心とした産業用電機・電子機器を取扱う技術商社として、多くのお客様に支えられながら今日の経営基盤を築いてまいりました。

現在では営業拠点を国内7支店・1営業所、海外5拠点へと拡大し、三菱電機製品に加えて多くのパートナー商品の取扱いとオリジナル製品の開発を進めながら、お客様の多様なニーズにお応えしてまいりました。

“たけびし”は、産業機器システム、半導体・デバイス、社会インフラ、情報通信という社会のあらゆるシーンにおいてお客様に満足、そして喜びと感動を提供し続ける“トータルソリューション技術商社”として、更なる「品質の向上」と「付加価値の創出」に努めてまいります。

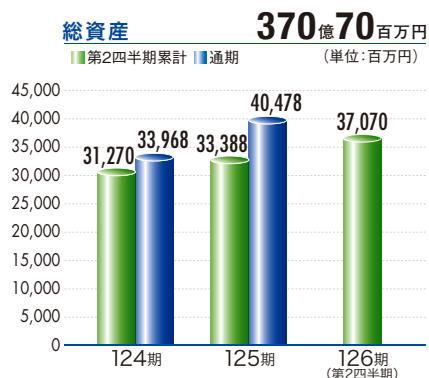
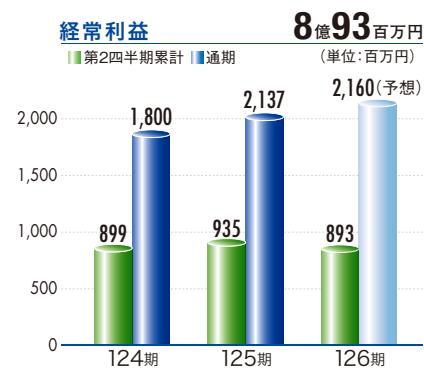
“京都発 最強の技術商社”を目指し、これからも皆さまと共に歩んでまいり所存です。今後ともご愛顧の程よろしくお願い致します。

株主の皆さまにおかれましても、なにとぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 藤原 宏之



決算ハイライト(連結)



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成26年9月30日現在)	前連結会計 年度末 (平成26年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	29,290	33,343
固定資産	7,779	7,135
POINT.1 資産合計	37,070	40,478
負債の部		
流動負債	15,869	20,439
固定負債	1,339	986
POINT.2 負債合計	17,208	21,425
純資産の部		
株主資本	19,764	19,361
その他の包括利益累計額	89	△308
少数株主持分	7	-
POINT.3 純資産合計	19,861	19,052
負債純資産合計	37,070	40,478

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 [平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで]	前第2四半期 連結累計期間 [平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで]
売上高	32,323	31,265
売上原価	28,403	27,373
売上総利益	3,920	3,892
販売費及び一般管理費	3,048	2,991
営業利益	871	901
営業外収益	86	92
営業外費用	64	58
経常利益	893	935
特別損失	10	0
税金等調整前四半期純利益	882	935
法人税、住民税及び事業税	253	377
法人税等調整額	78	△3
少数株主損益調整前四半期純利益	550	561
四半期純利益	550	561

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 [平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで]	前第2四半期 連結累計期間 [平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで]
POINT.4 営業活動による キャッシュ・フロー	799	330
POINT.5 投資活動による キャッシュ・フロー	△119	193
POINT.6 財務活動による キャッシュ・フロー	△156	△65
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△22	28
現金及び現金同等物の 増加額	501	486
現金及び現金同等物の 期首残高	3,448	2,930
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,949	3,417

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務ポイント

POINT.1 資産合計(流動・固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、流動・固定合計で前連結会計年度末比34億8百万円減少し、370億70百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少45億7百万円によるものであります。

POINT.2 負債合計(流動・固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、流動・固定合計で前連結会計年度末比42億16百万円減少し、172億8百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少32億54百万円によるものであります。

POINT.3 純資産合計

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比8億8百万円増加し、198億61百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加4億39百万円及び利益剰余金の増加4億3百万円によるものであります。

POINT.4 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、7億99百万円(前年同期は同3億30百万円)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が8億82百万円あったことによるものであります。

POINT.5 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、1億19百万円(前年同期は1億93百万円の獲得)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が57百万円あったことによるものであります。

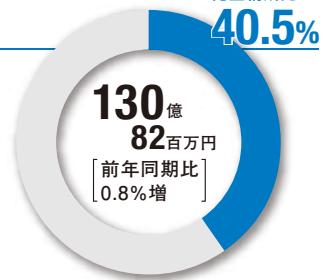
POINT.6 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、1億56百万円(前年同期は同65百万円)となりました。これは主に、配当金の支払額が1億47百万円あったことによるものであります。

産業機器システム

Industrial equipment and Systems

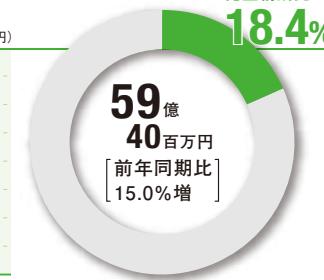
産業機器システム分野においては、前年同期に好調であった装置システム案件が減少したものの、半導体、太陽光関連の製造装置向けのFA機器が増加したことにより、この部門全体では売上高前年同期比0.8%の増となりました。



社会インフラ

Social Infrastructure

社会インフラ分野においては、病院向け放射線がん治療装置が減少したものの、太陽光発電や工場向けLED照明等の環境・省エネ商材が好調に推移し、この部門全体では売上高前年同期比15.0%の増となりました。



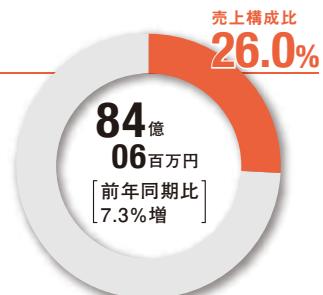
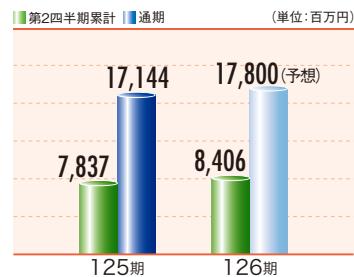
概況

売上高

FA・デバイス事業

概況

半導体・デバイス分野においては、産業機器向け半導体及び電話機向け液晶等の海外製エンベッド製品が増加し、この部門全体では売上高前年同期比7.3%の増となりました。



Semiconductors and Devices

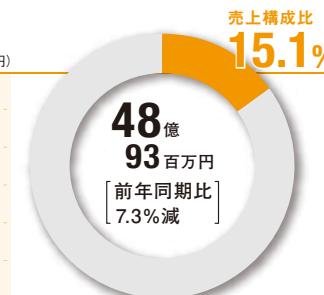
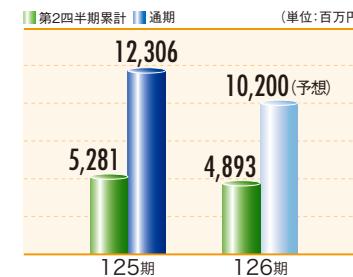
半導体・デバイス



社会・情報通信事業

概況

情報通信分野では、主力の携帯電話が減少したことにより、この部門全体では売上高前年同期比7.3%の減となりました。



Information and Communications equipment

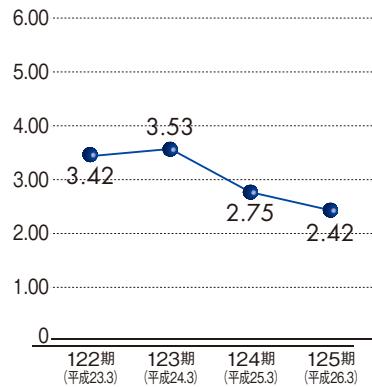
情報通信



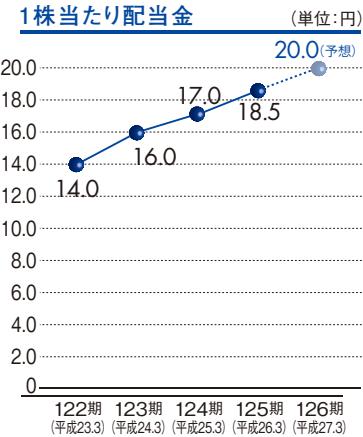
株価・株式売買高・
配当利回りの推移



配当利回り (単位:%)



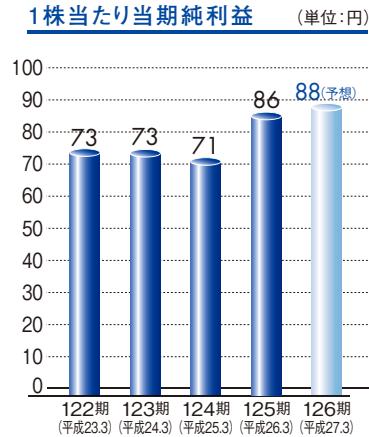
1株当たり配当金・
配当性向の推移



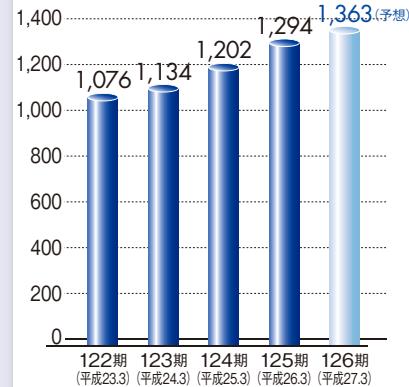
配当性向 (単位:%)



1株当たり当期純利益・
1株当たり純資産の推移



1株当たり純資産 (単位:円)



トピックス

たけびしの「魅力」を国内外でアピール!

FAゾーン ファシリティーゾーン オムロンゾーン

創エネ・蓄エネゾーン 電子デバイスゾーン

たけびしフェア2014 開催
7月10日(木)・11日(金)の2日間に弊社イベントホールにて開催いたしました。今回の共通テーマは「今を変革する!Linkソリューション」。2日間通して1,612名の来場を賜りました。

2014.6/19~22 >>>
MANUFACTURING EXPO 2014
バンコク国際貿易展示場 (BITEC)に出展致しました。

2014.7/10-11 >>>
たけびしフェア2014

2014.10/22~24 >>>
びわ湖環境ビジネスメッセ2014
「効エネが生み出す環境@リユース」をコンセプトに、最新の環境・省エネ製品を展示し、幅広いソリューションをご提案致しました。

2014.7/29-30 >>>
組込み総合技術展 関西 (ET-WEST 2014)
「エンベデッド・ソリューション・ミュージアム」をコンセプトに「組込み総合技術展関西 (ET-WEST 2014)」に、出展致しました。

会社情報

商号 株式会社 たけびし
 英文商号 TAKEBISHI CORPORATION
 設立 大正15年(1926年)4月24日
 資本金 25億5,472万5,400円
 上場市場 東京証券取引所市場第二部
 人 員 従業員(連結)563人(単独)377人
 総人員(連結)625人(単独)397人
 ※総人員には臨時雇用を含む。
 本社 京都市右京区西京極豆田町29番地
 支店 東京(横浜市港北区) 名古屋(名古屋市中村区)
 滋賀(滋賀県彦根市) 栗東(滋賀県栗東市)
 畿北(京都府福知山市) 大阪(大阪市北区)
 九州(福岡市博多区)
 営業所 甲府(山梨県甲府市)
 関係会社 国内:(株)フジテレコムズ、(株)TSエンジニアリング、
 竹菱興産(株)
 海外:竹菱香港有限公司、竹菱(上海)電子貿易有限公司、
 竹菱(上海)電子貿易有限公司 天津分公司
 TAKEBISHI EUROPE B.V.
 TAKEBISHI (THAILAND) CO.,LTD.

ホームページ <http://www.takebishi.co.jp>

役員及び執行役員

取締役 会長	岩田 武久
代表取締役 社長	藤原 宏和
取締役 常務執行役員	高瀬 和彦
取締役 常務執行役員	松本 明博
取締役 執行役員	橋本 之博
取締役 執行役員	亀井 孝勇
取締役 執行役員	小倉 眞琴
取締役 常務監査役	西村 荷賢
監査役	広瀬 裕
監査役	柳田 雅英
常務執行役員	小山 山
執行役員	竹中 秀夫

株式情報

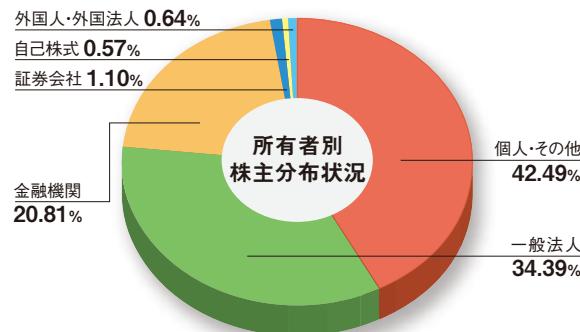
●発行可能株式総数: 28,280,000株
 ●発行済株式の総数: 14,798,600株
 ●株主数: 6,849名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	2,340	15.90
株式会社立花エレテック	1,059	7.20
たけびし従業員持株会	840	5.71
株式会社サンセイテクノス	763	5.19
株式会社三菱東京UFJ銀行	562	3.82
矢野 チズ子	438	2.98
株式会社京都銀行	428	2.91
三菱UFJ信託銀行株式会社	326	2.22
株式会社滋賀銀行	237	1.61
株式会社中央倉庫	230	1.56

(注) 1. 持株比率は自己株式(83,689株)を控除して計算しております。
 2. 株式会社立花エレテックの持株数には、株式会社立花エレテックが退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式600千株(持株比率4.08%)を含んでおります。

株式分布状況



株主様向け INFORMATION



IRサイトのご案内

当社のIRサイトでは、IRニュースや決算情報、業績ハイライト等を掲載しています。最新情報を分かりやすくご提供できるよう取組んでおりますので、ぜひご覧ください。

IR情報トップ



最新情報 IRニュース・決算情報をご覧くださいませ。



業績ハイライト 過去からの業績推移等をグラフでご覧いただけます。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月下旬
 基準日 定時株主総会 3月31日
 剰余金の配当 期末3月31日
 中間9月30日
 (その他必要ある場合は、公告のうえ設定します)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同 連 絡 先 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 電話(通話料無料)0120-094-777
 (土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

公告方法 電子公告の方法により行います。
 (ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)
 公告掲載URL (<http://www.takebishi.co.jp>)

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎ致します。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払い致します。

<http://www.takebishi.co.jp>

本社 / 〒615-8501 京都市右京区西京極豆田町29 TEL (075) 325-2111 FAX (075) 325-2250



環境に配慮した植物油インキを使用しております。